

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	7606	(H.24)No.	7606
-----------	------	-----------	------

事務事業名 比奈知農業集落排水施設整備事業			
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
上下水道部	下水道建設室(集排担当)	福川拓雄	63-7812
新・継	事業期間	根拠法令等	
新規	平成 23 年度 ~ 平成 28 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	3	快適な生活環境づくり
	施策	1	下水道等
	小施策	2	農業集落排水処理施設の整備
重点施策コード	4-5. 下水道事業の計画的な推進		

2. 予算区分

会計区分	事業コード	645401
農業集落排水事業特別会計	(中事業名)	予算書事業名
款 農業集落排水施設整備費	比奈知農業集落排水施設整備事業	
項 農業集落排水施設整備費	(小事業名)	
目 比奈知農業集落排水施設整備費	比奈知農業集落排水施設整備事業	

3. 事務事業の概要

事業概要
比奈知農業集落排水施設整備事業 計画処置人口:1,320人、管路:14km、汚水処理施設:1式 全体事業費:1,598,000千円 平成23年度:22,058千円 路線測量、基本設計 平成24年度:353,201千円(繰越含む) 路線測量、管路・処理施設設計、 管路施設工事3.3km 平成25~28年度:1,222,741千円 管路設計等、管路、汚水処理施設1式

めざす効果(事業目的)
農業集落排水処理施設を整備することにより、公共用水域や農業用排水の水質保全及び農村地域の生活環境の改善を図ります

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)				
		[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	補助金・交付金
主な事業の実績・計画	委託料 22,058千円 ・基本設計業務1式 ・路線測量業務委託 < H.24年度への繰越明許費 > 35,200千円 (財源) ・県支出金 16,100千円 ・地方債 16,300千円 ・分担金 2,710千円 ・一般財源 90千円	委託料 74,000千円 ・路線測量 ・管理施設実施設計 ・処理施設実施設計 工事請負費 242,900千円 ・管路施設工事 L=3.3km ・水道管移設工事 補償費 100千円 ・電柱移転補償 事務費 1,001千円	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)		
直接事業費	22,058千円	318,001千円	311,000千円	310,000千円	302,000千円		
財源内訳 (千円)							
国庫支出金							
県支出金	10,400	140,000	140,000	142,500	138,500		
地方債	9,700	149,600	144,800	141,400	138,100		
その他(分担金)	1,857	28,303	26,120	26,040	25,370		
一般財源	(0) 101	98	80	60	30		
人工数							
職員	1.32人	2.40人	2.40人	2.40人	2.40人		
臨時職員等		0.96人	0.96人	0.96人	0.96人		
概算人件費	(0千円) 9,636千円	17,520千円	17,520千円	17,520千円	17,520千円		
+ 総事業費	(0千円) 31,694千円	335,521千円	328,520千円	327,520千円	319,520千円		

概算人件費は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	km	-	-	-	-	3.3
	実績		-	-	-	-	-
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
生活汚水により水質が悪化し、生活環境の劣化が進んでいます	事業の継続が求められています。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
平成23年度に県補助金が削減され、平成24年度も厳しい状況にある。	計画通り進める。

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む) 継続(現行)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載 名張市下水道整備マスタープランに基づき農村部の生活環境及び水質保全確保のため整備が必要である。

特記事項

--